

一、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文省略

【新井 紀子『A I v s. 教科書が読めない子どもたち』東洋経済新報社の文章による】

【注】 1…さかんに世間に言いふらすこと。

2…問題を解決するための手順や方法のこと。

3…A Iが人類の知能を超え、人間の生活が大きく変化するといわれる転換点のこと。技術的特異点とも言う。

4…関東の私立大学である明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学の頭文字をとった通称。

5…事務系の職種のこと。

6…世間のこと。

問一 傍線の部分㉔㉕の漢字は読みをひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。

問二 傍線の部分①とありますが、その理由として最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア AIは人類と同じ能力を持つと予想され、人類の仕事が取って代わられる可能性が高いと人々が信じているから。

イ AIが人と同等の知能を獲得することで、社会があらゆる面で革新的に成長するということを人々が信じているから。

ウ AIが人類を支配することは現在の技術力ではありえないのに、大きな情報で極端な事態を人々が信じているから。

エ AIはシンギュラリティが到来しても、人類を支配することはあり得ないということを人々が信じているから。

問三 傍線の部分②とありますが、人間が「肩代わり」されるのは、何がどのようなようになった場合か。三十字以内で説明しなさい。

問四 傍線の部分③とありますが、これはどのようなことに驚愕したのか。最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア AIは進歩してきた結果、能力的に日本の中高生とよく似ており、日本人とほぼ同等の労働力を有しているということ。

イ AIは表層的な知識の処理は得意であるが、日本の中高生が有している読解力を身に付けることができているということ。

ウ AIはまだ東大に入ることが出来るまでには進化していないが、私大には合格できる学力を持っているということ。

エ AIは労働の際、日本人が行うことができる業務と同じことができ、人間に近い知能を持っているといえるということ。

問五 傍線の部分④とありますが、どのような未来を予想しているか。最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人口の減少によって、AIが労働力として常に求められ、経済的に不安定な未来。

イ AIと能力的に似ており、仕事を代わられる人があふれ、経済的に不安定な未来。

ウ 多くの人が貧困に苦しみ、思考力のある人々のみが輝き、経済的に不安定な未来。

エ 人工知能により世の中が支配され、人々の自由が奪われ、経済的に不安定な未来。

二、次の文章は飛鳥井千砂あすかいちさの小説『はるがいったら』の一節である。両親の再婚によって「忍」と「行ゆき」は兄弟となった。ある日、行が入院している病室に忍が来た。次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文省略

問一 傍線の部分㉔㉕の漢字は読みをひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。

問二 傍線の部分①とありますが、具体的にどのような内容か。本文中の言葉を用いて三十字以内で説明しなさい。

問三 傍線の部分②とありますが、それはなぜか。最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 考え方や生活スタイルの全く違う忍に、「ありがとうね」と感謝されたから。

イ 考え方や生活スタイルの全く違う忍と、お互いを認め合うことができたから。

ウ 考え方や生活スタイルの全く違う忍を、初めて兄弟のように思うことができたから。

エ 考え方や生活スタイルの全く違う忍を、頼もしく感じる事ができたから。

問四 傍線の部分③とありますが、意味を正しく説明しているものとして、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 地位や身分の上下関係によらない、気軽な言葉がけのこと。

イ 付き合いをうまく進めるための儀礼的な誉め言葉や挨拶のこと。

ウ 人前をはばからず、勝手気ままで無遠慮な行動をとること。

エ 巧みにうわべを美しく飾っただけの、誠意のない文言のこと。

問五 傍線の部分④とありますが、それはどういふことか。本文の内容に即して八十字以内で説明しなさい。

三、次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。

今は昔、木こりの、山守やまもりに斧よきを取られて、わびし、心憂こころうしと思ひて、<sup>①</sup>頬杖こいひづゑ突きてをりける。山守見て、「<sup>②</sup>さるべき事さるべきことを申せ。取らせん」といひければ、

悪あしきだになきはわりなき世間よのなかによきを取られてわれいかにせん

と詠よみたりければ、山守返しせんと思ひて、「<sup>③</sup>うううう」とうめきけれど、えせざりけり。さて斧返し取らせてければ、うれしと思ひけりとぞ。<sup>④</sup>人はただ歌を構へて詠むべしと見えたり。

【注】

山守…山を見張っている者。

頬杖…座った状態で、両手で頬を支えている状態のこと。

さるべき事…ふさわしいこと。

返しせん…歌を返そう。

【新編日本古典文学全集 50 『宇治拾遺物語』 小学館の文章による】

問一 傍線の部分①の状態になったのはなぜか。理由を説明しなさい。

問二 傍線の部分②の「事」を言い換えることができる語を本文中から一字で抜き出しなさい。

問三 傍線の部分③について、山守がこのようにうめいたのはなぜか。最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 木こりの歌の技巧が素晴らしく、返す歌を作ることが出来なかったから。

イ 木こりの歌の内容に感動し、自分のしたことに対し後悔しているから。

ウ 木こりの歌の完成度に比べ、自分の歌の出来の悪さを思い知ったから。

エ 木こりの歌の素晴らしさに驚き、予想と違う結果に腹を立てているから。

問四 傍線の部分④とありますが、ここで作者はどのようなことを述べようとしているか。最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 歌を身に付けておくことで、世の中の人々を幸せにすることがあること。

イ 歌を身に付けておくことで、教養がある人と仲良くなれること。

ウ 歌を身に付けておくことで、困難に出会った自分を助けてくれること。

エ 歌を身に付けておくことで、愛する家族を助けることができること。

問五 『宇治拾遺物語』は、鎌倉時代に成立したものである。次のア～エの中から、成立が**鎌倉時代ではない**文学作品を全て選び、記号で答えなさい。

ア 万葉集

イ 徒然草

ウ 平家物語

エ 竹取物語